

従業者向け

放課後等デイサービス評価表（2024年度末）

配付10名 回収9名 回収率90%

2025.3.7公表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	2階の事業所だが、エレベーターはない。 車いすの方の受け入れは現在の場所では難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		床材は、ノロの際にも清掃しやすい素材の検討が必要
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	8	利用者が使用できる個室がないため、フールダウンする場所がない。 2月に個室はできたが、内開きのため、中にいる人が扉に物を置いた寄りかかると、外から開けられない危険がある。 使用するならば、ルール作りが必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	以前よりは改善されたが、勤務日数が少ないスタッフが参加出来ない。引き続き工夫していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	前年度の比較をしつつ、業務が改善されているのかどうかを検討した方が良い。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4	前年度の比較をしつつ、業務が改善されているのかどうかを検討した方が良い。事前に資料を配布するなど、具体的にどう改善すべきかを、もっと議論できる方法を検討する。
	9 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	オンライン研修で自由に学べるが、もっと気軽に受講できるように工夫したい。法人内研修は、今後新しい法人となるため、研修内容を確認し、全体に周知する。
	10 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	入所時の事前調査書や、面談時にアセスメントを取っている。今後は、面談時に限らず、随時必要なアセスメントを取っていけるよう、工夫していく。
	11 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	まだ、共通理解が出来ていない場面がある。 ミーティング以外でも、個々に丁寧に理解を求めていく。
	12 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	まだ、共通理解が出来ていない場面がある。 ミーティング以外でも、個々に丁寧に理解を求めていく。
	13 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	フォーマルなアセスメントが、利用者全員の必要なことをカバー出来ない部分がある。現在、内容を検討している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	活動プログラムの案を、他のスタッフにも意見を聞く機会を設けていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	どの子供も楽しめるように、活動を組み立てている。おもちゃやゲームは、今後購入を検討していきたい。外活動の場所は、安全面も考慮しつつ、幅を広げていきたい。
	16 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	全職員で出来ないことがあったり、主となる職員がいないと出来ない場面がある。今後は送迎があるため、時間や方法の検討が必要。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	システムを導入し、日々のサービス提供記録はWEBに登録できるが、従来の紙で行っていた利用のない日に電話で話した内容を記録したり、経過記録を登録できない。従来の紙に記録するものも残していく。
	20 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		
	21 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	3	従来の支援が、「4つの基本活動」のどこになるのかを検討してきた。職員、保護者に対し内容を説明していく。
22 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	日々のおやつで、自分でお財布の中身と相談しつつ選んでいる。違うおやつに自らチャレンジする場面もある。また、自由遊びでは「何で遊びたいのか」を選択している。いつも同じ遊びになる場合に、もっとこちらから遊びの幅を広げられるようにしていきたい。	

関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
	24	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8	1	
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5	まだ、連携が取れているとはいえない。 入所時に、保護者より資料を提供して頂ける場合もある。 今後は、入所時に保護者にこちらから協力をお願いしていきたい。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	同じ法人内事業所の提供しているものの、他の法人に提供したことはない。今後は、保護者の同意をとり、必要な情報提供をしていきたい。
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	児童発達支援センター主催の放課後等デイサービスの連絡会は開催されているが、個別の助言機会や研修情報の提供などはない。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	30	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	面談時に保護者とはお話し出来ているが、子ども本人の意向を確認することは出来ていない。 中学生、高校生の方には、直接意向を聞く機会を設けることも検討したい。
	31	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	3	助言できるスキルがまだ足りておらず、きちんと対応できていない部分がある。今後も研修や、関係機関との連携を行っていく。
	33	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	去年は4月に保護者会を実施した。 今後も、保護者会を定期的に開催していく。
	34	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	助言できるスキルがまだ足りておらず、きちんと対応できていない部分がある。今後も研修や、関係機関との連携を行っていく。
	35	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	毎月定期的に発信している。内容については、足りていない部分があった。今後は研修や、避難訓練なども伝えていく。
	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	2	契約の際に同意書もらい、顔写真の公開の可否を行っている。しかし、昨今の状況を見ると、たとえ許可をとっていても、ブログに公開するのが良いのかどうか、検討したい。
	37	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	2	HUGシステムの場合、全体に情報を公開しても個別の既読がないため、本当に確認してもらっているのかわからない。確実に伝えるためには、既読になる個別メールや、場合によっては紙でのお渡しも必要。
非常時等の対応	38	危機管理マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	訓練は実施してる。危機管理マニュアルの周知は、年度初めに毎年必要。
	39	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	法人全体のBCPはあるが、今後事業所ごとに内容の検討が必要
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	服薬の管理について、現在は必要な方はいないが、過去のマニュアルのため、今後のためにアップデートが必要
	41	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	アレルギーについて、医師の指示が必要な方はいないが、受入れ方法などの検討は必要
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		